

主直日誌

4月 14日(土) 天候 雨

主直氏名

【実習・課業の具体的な内容】

- ・ 明石海峡航路実習、備讃瀬戸航路研究発表会、漁具作り

【感想(一日を振り返り、勉強になったことや感じたこと)】

今朝、専攻科に上がってから始めて航路に入りました。明石海峡は私が航路研究の担当で、なおかつ船長役も私がやることになり、より責任を持って航路実習に臨むこととなりました。

明石海峡自体は3年次の航海で一度通っていて、浦賀・中ノ瀬を通った際はちょうど当直の間だったためブリッジにいたものの、当時は今ほど多くのことをやらなければいけなかったわけではなく、特定航法などもしっかり把握していたわけではないのでそこまで重く受け止めてはいませんでした。しかし、今回は航路に関する法規や航法をしっかり学んだ上で航路実習に挑みました。瀬戸内海は交通量の多い海域なのでどんな障害があるのか緊張していましたが、私が思っていたものとは大分違い、小型船も含めて予想していたよりずっと船の数が少なく、思っていたより大した障害も無く明石海峡航路を通過することが出来ました。

行きの明石海峡は思っていたよりすんなり通過することが出来ましたが、帰りはこうなるとは限りません。むしろ今回のようなことのほうが珍しいので帰りは少なからず苦勞することになると思われまます。瀬戸内海での航路実習はまだまだこれからが大変になってくることになると思われまます。明日は備讃瀬戸を通ります。明石より航路の長さもずっと長し、幾つかの航路と交差していて一筋縄では行かないと思います。そのようなことから明日以降も気を引き締めて行きたいと思われまます。



前に見えるのは、明石海峡大橋です



機関室内の様子。さすが専攻科生。主機の扱いにも慣れた様子です。↑



南風が強く、予定を変更して伯方島付近に錨泊です。錨を下ろすと同時に、「錨泊中」を知らせる「黒球（こっきゅう）」を掲げました。